

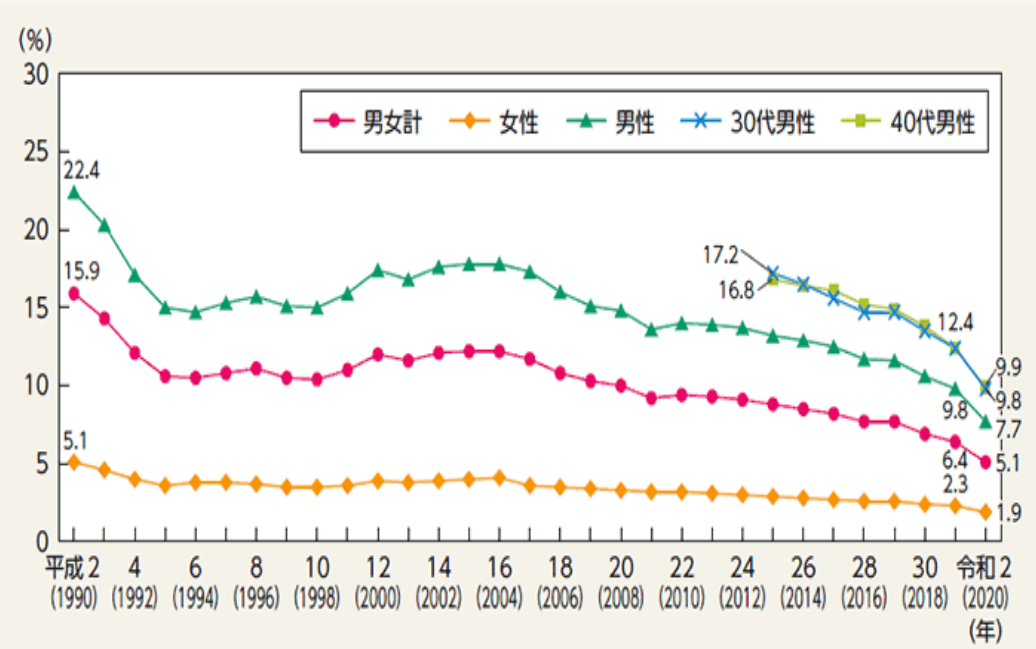


発見！ジェンダーパネル NO.1

いつまで続く!?こんな生活

週間就業時間60時間以上（残業80時間以上 /月）の雇用者割合において、育児期にある30歳代から40歳代の男性の割合は年々減少傾向ではあるものの、他世代より高い状況が続いています。男性の家事育児時間や育休取得率が国際的に最低水準のまま改善されない大きな要因の一つです。雇用者世帯の約7割が共働きという中、仕事、家事、育児や介護、何重もの負担が女性に重くのしかかっているだろうことが容易に想像されます。長時間労働や転勤を当然とする従来の男性中心型労働慣行は、女性活躍の前の大きな障壁になるばかりか、過労死さえもたらしているのです。女性も男性も生活と仕事を調和させ、個性と能力を発揮して活躍できるよう、働き方を変えていかなければなりません。

週間就業時間60時間以上の雇用者の割合の推移



内閣府『令和3年版男女共同参画白書』より抜粋



グラフ詳細はこちら→